

宮城県大崎市古川駅前 の液状化による下水マンホール被害 2011年3月14日時点の様子

大崎市古川駅西側周辺の液状化被害による下水管マンホール(MH)の浮上、ならびに周辺地盤の沈下箇所を示しています。表示した図面範囲の外側においても建物周辺の地盤沈下が確認された。2008年岩手宮城内陸地震において、この周辺で液状化の被害は見られなかった。

高橋良和(京都大学)・後藤浩之(京都大学)・鎌田泰子(神戸大学)の調査による【文責・図面作成: 鎌田泰子】



MH浮上 10cm程度



MH浮上 5cm程度



MH横の地盤が沈下



MH浮上 10cm程度



現在、ルートイン
ホテル有り

Google Earthより航空写真を引用



新幹線駅高架下のコンビニ前、噴砂跡



ふるさと館 周辺地盤の沈下



MH浮上 25cm



MH浮上 95cm(地表より90cm、周辺地盤5cm沈下)



↑MH浮上 5cm程度, →MH浮上 25cm程度

